ロイヤルエンフィールドジャパン
(総輸入発売元:ピーシーアイ株式会社)
2026 年 11 月 20 日
PCI-RE2026036

ロイヤルエンフィールド EICMA 2026 で Pure Motorcycling を拡張する ニューモデルを発表



- **冒険のあるべき姿をシンプルに妥協なく体現した「HIMALAYAN 750」**
- **カフェレーサーをよりスポーティに「CONTINENTAL GT 750」**
- **電動バイク「FLYING FLEA S6」**
- **限定モデル「SHOTGUN 650 Son of a Gun」**
- **新しいブランドアイデンティティを掲げた「1901 アパレル・コレクション」**

2026 年 11 月 3 日　イタリア・ミラノ

　ミッドサイズ(250cc～750cc)モーターサイクル・セグメントのグローバルリーダーであるロイヤルエンフィールドは、イタリア・ミラノで開催されている世界最大級のモーターサイクルショー EICMA2026 において、創業 125 周年イヤーを締めくくるとともに、次の 1 世紀に向けた伝統と未来への大胆なビジョンを表現するニューモデルを発表しました。

ROYAL ENFIELD

ショーケースの幕開けを飾ったのは、待望の「HIMALAYAN 750(ヒマラヤ・ナナゴーマル)」。まったく新しい排気量 743cc 空冷並列 2 気筒エンジンを搭載したモデルです。HIMALAYAN シリーズの初代モデルである HIMALAYAN 411 は、10 年にわたりライダーのキャリアやスキルにかかわらず、誰もが山々を駆ける楽しさを提供してきました。「HIMALAYAN 750」はその精神を、より力強く新たな形で表現するモデルです。より多くのライダーに、より広く、より長くその体験を共有してもらうため、各部を設計しました。モダンな装備を加えながら、HIMALAYAN 411 の堅牢さとシンプルさを受け継ぎ、HIMALAYAN 450 の先進性をさらに拡張したアドベンチャーモデルです。

「CONTINENTAL GT 750(コンチネンタル・ジーティー・ナナゴーマル)」は、ロイヤルエンフィールドが受け継いできたカフェレーサーの系譜を、よりシャープでスポーティに進化させたモデルです。個性的なレトロスタイルとモダンなシャープさを融合させ、アイコニックな GT の伝統を新たな時代へと引き継ぎます。パワフルになった新しい排気量 743cc 空冷並列 2 気筒エンジンを搭載しました。

電動バイクのセグメントでは「FLYING FLEA S6(フライングフリー・エス・シックス)」を発表。ダート・イエローとライトニング・グレーのボディカラーを採用したスクランブラーです。ロイヤルエンフィールドが推し進める“City+(シティ・プラス)”というアイデアを市街地からオフロードへと広げるモデルです。トルクフルなモーターと軽量な車体により、渋滞する街中からトレイルまで、楽しく走れる性能を備えています。

EICMA での展示について、アイシャー・モーターズ マネージングディレクター兼ロイヤルエンフィールド CEO の B・ゴビンダラヤンは、次のように述べています。

「ロイヤルエンフィールドは 125 年にわたり、『Pure Motorcycling』という哲学に忠実であり続け、進化を重ねてきました。今年の EICMA2026 で私たちが披露するのは、デザインの伝統とライダーの想いから生まれたエンジニアリングを結びつける、未来志向のビジョンです。これらの展示車両には、ラインナップの拡充や技術の進化、そしてコミュニティに向けた、より魅力的な文化的エコシステムの提供という、私たちの取り組みを反映しました。私たちの次章を牽引するのは、10 年にわたる HIMALAYAN シリーズでの経験を基に新たに構築した HIMALAYAN 750 です。より高い走破性と新しい技術を絶妙にバランスさせながら、荒々しい探検への精神を駆り立てます。CONTINENTAL GT 750 は、象徴的なカフェレーサーの系譜を、よりシャープで現代的な表現で前へと進めました。電動バイクの分野では、スクランブラースタイルの FLYING FLEA S6 が、圧倒的な軽さと俊敏さ、そして個性的なデザインによって、都市を探索する可能性をさらに広げます。またデウス EX マキナとのコラボレーションによる限定モデル SHOTGUN 650『Son of a Gun』はカスタムバイクの創造的な可能性を称えています。そして 1901 アパレル・コレクションは私たちの伝統を新しい世代のために再解釈しました」



■HIMALAYAN 750(ヒマラヤ・ナナゴーマル)―新たなフロンティアのために

HIMALAYAN 411 がアドベンチャーバイクを身近な存在にしてから 10 年。ロイヤルエンフィールドは、初の 750cc モデルとなる「HIMALAYAN 750」をラインナップします。ライダーによる、ライダーのためのバイクづくりという伝統を受け継ぎ、新たな冒険を求め、故郷から遠く離れた場所へと走るために設計しました。ライダーをサポートする様々な技術を備えながら、冒険心を掻き立てる仕様です。中核を成すのは、個性豊かな排気量 743cc 空冷並列 2 気筒エンジン。5,000rpm で 63Nm のトルクを発生し、その 90%を 3,500rpm という低回転から引き出せるため、あらゆる地形でも力強い走りを発揮します。あらゆるライディングスタイルに対応するよう 6 軸慣性計測ユニット(IMU)を搭載。5 つのライディングモード、コーナリング ABS、リーン角感応式トラクションコントロール、クルーズコントロールを採用。キャストホイールまたはスポークホイールを選べるフロント 19 インチ／リア 17 インチのチューブレスホイールを備え、走行状況に応じてライダー操作をサポートします。調整可能なウインドスクリーン、独立したライダー用およびパッセンジャー用シートも装備しています。



■CONTINENTAL GT 750(コンチネンタル・ジーティー・ナナゴーマル)
―カフェレーサーの系譜

ロイヤルエンフィールドは「CONTINENTAL GT 750」の発表によって、カフェレーサーの系譜に新たな表現をもたらしました。個性的なスタイリングとスポーティな性格を併せ持ち、GT の伝統を現代的なデザインで受け継いでいます。排気量 743cc 空冷並列 2 気筒エンジンの高出力バージョンを搭載し、ブランド史上最高性能の市販モデルとなります。性能、品質、構成部品の仕様において大きく進化しながらも、あえてアナログな性格を残し、ユニークなハイブリッド・ツインポッド TFT ディスプレイなど、ミニマルな技術を丁寧に組み込みました。CONTINENTAL GT 750 には、ネイキッド仕様とハーフフェアリング仕様を用意。ネイキッド仕様が GT 特有のシルエットに忠実である一方、ハーフフェアリング仕様は、走りにより集中できるライディングポジション構成するためハンドルバー位置を低く設定しました。EICMA2026 では、この 2 つの仕様にわたる 3 つのカラー／レッドライン、TT ブルー、マスタークリーン―を展示しました。



■FLYING FLEA S6(フライングフリー・エス・シックス)―City+スクランブラー

スクランブラーの「FLYING FLEA S6(FF S6)」は、ブランドの City+という提案を市街地の外へと広げます。FF C6 の軽量な車体構造と俊敏なパフォーマンスをベースに、石畳や路面電車の線路、工事中の道やダートまで、荒れた街中でも動じない、鋭くパンチの効いた走りを実現します。初心者にも親しみやすく、車をかわしながら走り、街を横断するルートを選びたい熟練ライダーにも走りを楽しむ要素をたっぷり詰め込みました。人目を引く個性的なデザインは、きらびやかな街中にも、泥まみれの道にも似合います。FF S6 は、トルクフルなモーターとエンデューロシートを組み合わせ、渋滞する街中でも、トレイルでも、楽しく走れる性能としました。円形のタッチスクリーンディスプレイには Fleaware.OS を搭載し、あらゆる走行条件下でもライダーとバイクをつなぎます。FF S6 には City+ライディング向けの多彩なライダーサポート機能とライディングモードを備え、オフロードに直面したときにライダーが走りに没入できる専用のオフロードモードを初めて搭載しました。カラーはダート・イエローとライトニング・グレーの 2 色。2027 年夏に、地域を限定し発売予定です。



■「Son of a Gun」―SHOTGUN 650 × Deus EX Machina 限定エディション／「サン・オブ・ア・ガン」―ショットガン 650×デウス・エクス・マキナ

オーストラリアを拠点に世界中でファッションとバイク、サーフィンやスノー、アートを展開する Deus EX Machina との特別なコラボレーションにより、ロイヤルエンフィールドは、SHOTGUN 650 をベースにしたカスタムバイク「Son of a Gun」を発表します。このビルドに着想を得て、ロイヤルエンフィールドは 2027 年、世界 100 台の限定モデルを生産する予定です。ディープレッド、クリーム、ゴールドの印象的なカラースキームに、流れるようなコラボレーションのタンクロゴ、細部まで描き込まれたパネルグラフィックをデザイン。ピアノブラックで仕上げた、実績ある 650 ツインエンジンを搭載し、コントラストカット仕上げのホイール、デウスの刺繍ロゴが入ったブラウンのレザーシート、同色のブラウンのグリップでスタイリングしました。さらに 100 台それぞれに、ヘリテージタイポグラフィと、車体カラーと同色のインナーを採用した、ロイヤルエンフィールド × Deus EX Machina 限定「ストーンウォッシュ・サテン製スーベニアジャケット」が付属します。



■1901 アパレル・コレクション

1901 アパレル・コレクションは、ロイヤルエンフィールドの新ブランドアイデンティティのデビューを飾るもので、このアイデンティティは近く、製品、ショールーム、ディーラーなど、あらゆる顧客接点で世界的に展開する予定です。新たにデザインしたキャノン・モチーフを軸に、上質で構築的なカッティングと、限定エディションの特別なアイテムを組み合わせ、伝統に忠実な基本のカラーパレットで統一しています。

■コミュニティ

「Pure Motorcycling」の精神を祝し、2026 年 9 月に第 1 回「ヒマラヤ・ベースキャンプ」を開催。地域限定で販売する HIMALAYAN 440 もその場所で発表しました。数千人の参加者が集い、バイクの枠を超えた、アウトドアを愛するすべての人を迎え入れる祝祭となりました。ヒマラヤ・ベースキャンプは、2027 年 9 月 3 日～5 日にインド北部、ヒマラヤ山脈の入口の街として知られるラダックで再び開催します。バイクとヒマラヤン・カルチャーを祝うこの催しは、2026 年 11 月 27 日～29 日にインド西海岸のリゾート地ゴアで開催する、ロイヤルエンフィールド最大のモト・カルチャーの祭典「モトバース」へと続きます。

＜ロイヤルエンフィールドについて＞

1901 年の創業以来、ロイヤルエンフィールドは美しいオートバイを作り続けてきた二輪車ブランドです。そのルーツは英国にあり、1955 年にマドラス(現チェンナイ)に製造工場を設立。以来ロイヤルエンフィールドは、インドのミッドサイズ・モーターサイクルセグメントの成長を牽引してきました。ロイヤルエンフィールドのモーターサイクルは、美しく、シンプルで親しみやすく、ライディングする楽しさに溢れた乗り物である。それは我々ロイヤルエンフィールドが、自らを『Pure Motorcycling／ピュア・モーターサイクリング』と呼ぶ由縁です。

ロイヤルエンフィールドのプレミアムラインナップには、クルーザーの「METEOR 350(メテオ・サンゴーマル)」、650 パラレルツインモーターサイクルの「BULLET 650(ブリット・ロクゴーマル)」、「CLASSIC 650(クラシック・ロクゴーマル)」「SUPER METEOR 650(スーパー・メテオ・ロクゴーマル）」、「INT650(アイエヌティ・ロクゴーマル）」、「CONTINENTAL GT650(コンチネンタル・ジーティー・ロクゴーマル）」、アドベンチャー・モーターサイクルでは「HIMALAYAN 450(ヒマラヤ・ヨンゴーマル）」、アイコニックな「GOAN CLASSIC 350(ゴアン クラシック・サンゴーマル）」「BULLET 350(ブリット・サンゴーマル）」、「CLASSIC 350(クラシック・サンゴーマル）」があります。また我々は 2024 年に、新しいシティ＆電動モーターサイクルブランド『FLYNG FLEA(フライング・フリー)』を発表しました。それはモダンなデザインと先進技術を融合させた、都市型モビリティカテゴリーにおける我々の新たなチャレンジでもあります。

また我々ロイヤルエンフィールドは、世界各地でモーターサイクルイベントを企画しています。とくに、毎年 11 月にインド西海岸のリゾート地ゴアの美しいビーチに、世界中からロイヤルエンフィールド・ライダーが集まるイベント「Motoverse(モトバース)」や、ヒマラヤ山脈の高地を走る「Himalayan Odyssey(ヒマラヤン・オデッセイ)」が有名です。世界中の人々がロイヤルエンフィールドを走らせる世界同日開催のライディングイベント「One Ride(ワンライド)」も実施しています。

インドのトラック大手 Eicher Motors Limited(アイシャーモーターズ・リミテッド)の一部門であるロイヤルエンフィールドは、インドの主要都市に 2000 以上の店舗を構え、世界 60 カ国以上に 850 近い店舗を展開しています。また、ロイヤルエンフィールドは、英国のブランティングソープとインドのチェンナイに 2 つのテクニカルセンターを有し、インドの都市チェンナイ近郊のオラガダムとヴァラムヴァダガルに 2 つの最新鋭の生産施設を運用しているほか、バングラデシュ、ネパール、ブラジル、タイ、アルゼンチン、コロンビアの 6 ヶ所に近代的な CKD(コンプリート・ノック・ダウン)組立工場も有しています。

ロイヤルエンフィールドのブランドや製品に関する詳細は下記公式ウェブサイトをご覧ください。
https://www.royalenfield.co.jp

全国の ROYAL ENFIELD 正規販売店は下記よりご確認いただけます。
https://www.royalenfield.co.jp/dealers/

本件に関するお問い合わせ先
ロイヤルエンフィールド総輸入発売元：VT ホールディングスグループ・ピーシーアイ株式会社
https://www.royalenfield.co.jp